

社会資本整備審議会 道路分科会 関東地方小委員会 (令和元年度第1回)議事概要

1. 持ち回り開催

2. 審議内容

令和2年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価

- ・新規事業候補箇所の選定の考え方
- ・新規事業候補箇所説明資料
 - 一般国道4号 東埼玉道路（八潮～松伏）
 - 一般国道50号 協和バイパス

<委員からの主な意見等>

■平成31年度新規事業候補箇所の新規事業採択時評価

○一般国道4号 東埼玉道路（八潮～松伏）

- ・計画段階評価の対応方針(案)及び新規事業化については妥当である。
- ・昨今の頻発する自然災害を考えると災害時における機能性の高い道路ネットワークの形成の地域における貢献度・安心度は大きいものと考えられる。河川氾濫の際の代替路の確保は重要と考えられる。
- ・地域の利便性向上、道路ネットワーク充実による防災性向上の観点から、妥当な計画であると考えられる。
- ・立体交差のための土工部および高架部の選定においては、（単にコストの大小だけでなく）地域分断問題等が生じないように、周辺住民の理解を得られるよう十分な検討を行っていただきたい。
- ・B/Cが現時点で大きいとは言えないので、今後、事業化した際の費用増加が心配である。
- ・東埼玉道路連絡線IC（仮称）・八潮間の所要時間を36分から15分に21分短縮する大きな生産性向上効果を持ちます。道路完成時に外環・北千葉道路経由で成田空港に直結する姿を想定すると、その効果は一段と大きいでしょう。高速道路のアクセス向上効果の大きさは最近の外環千葉県区間でも実証されています。また、最近の首都圏の高速道路IC周辺の企業立地状況、地価上昇から見て、東埼玉道路は周辺地域の発展に大きく寄与するはずで、その効果を十分発揮するために、今回対象区間の先、松伏から東埼玉連絡道IC〔仮称〕、さらには庄和IC(仮称)までの延長が一日も早く実現するよう願っています(国道4号だけでなく、16号の渋滞緩和にもつながるのではないのでしょうか)。
- ・ストックやフロー効果の見込まれる事業と考えられます。また、地域の賛同や要望があることから進めるべきと思います。
- ・完成までにかかなりの時間を要すると思われます。道路の渋滞解消は、CO2削減や地域産業の発展に寄与しますので、すみやかに着工し、前倒しの完成を期待いたします。

○一般国道50号 協和バイパス

- ・計画段階評価の対応方針(案)及び新規事業化については妥当である。
- ・混雑度の緩和が重要である。交通容量の確保により混雑度の解消に著しい効果が期待される。
- ・地域の利便性向上、道路ネットワーク充実による防災性向上の観点から、妥当な計画であると考えられる。
- ・B/Cが現時点で大きいとは言えないので、今後、事業化した際の費用増加が心配である。
- ・既に事業中の下館バイパス、桜川筑西IC 関連(延伸)と一体としてこそ効果が発揮されると思います。地域特産品の付加価値向上のためにも、バイパス案での早期完成を期待します。
- ・ストックやフロー効果の見込まれる事業と考えられます。また、地域の賛同や要望があることから進めるべきと思います。
- ・完成までにかかなりの時間を要すると思われれます。道路の渋滞解消は、CO₂削減や地域産業の発展に寄与しますので、すみやかに着工し、前倒しの完成を期待いたします。

以 上